



学校だより

伸びゆく子

平成30年11月30日
横浜市立中沢小学校
12 月 号

心がふれあうかかわりの大切さ

校長 小倉克彦

寒さもひとしお身にしみる季節になりました。皆様いかがおすごでしょうか。

さて、11月17日に中沢小学校合唱団「ありがとうの会」を開催いたしました。大勢の地域、保護者の皆様にご参観いただき心より感謝いたします。この演奏会は合唱団の子どもたちにとっても「応援をしてくださっている皆さんに感謝の気持ちをお伝えする」「年度の後半を迎えるにあたりチームとしてしっかりとした取組をする」機会としてとても大切です。

年間の大きな節目となる演奏会を迎えるにあたり部長、副部長をはじめ何人かの子どもたちから聞いたお話がとても素敵だったのでご紹介いたします。

まず、部長の鈴木結陽さん「今年のチームがスタートしたばかりの4、5月は大変だった。『一人ひとりが心を替えていかないとね。』とメンバーに厳しい話をしたこともありましたが、今は一人ひとりが自覚をもって練習に取り組んでいる。チームとしてまとまっている。」次に、副部長の藤田大和さん「今は練習が充実している。言われなくても自分たちですすめていく気持ちと行動力が大切。」リーダー二人の話からは、この半年間の取組に対する手ごたえと充実感が伝わりました。話を聞いているうちに、6年生の強力なリーダーシップを下級生はどのように受け止めているのだろうと聞いてみたくなり、5年生の代表に話を聞きました。「4月の頃は挨拶をしたり、時間を守ったりすることもしつかりできずにまとまらなかった。6年生は厳しかったけど合唱団のことを考えてくれていることがわかった。今は楽しいです。」また、4年生は「わたしたちも6年生みたいになりたい。6年生がじきに卒業してしまうけど、跡継ぎができるように本気でやるのもっと教えてください。」と力強く話してくれました。「明確な目標」が子ども一人ひとりの高い意識や行動力、強い信頼関係を育てていること、この半年で大きく成長している子どもたちの様子に改めて感心、感動しました。心と心が触れ合う本気の活動は子どもを大きく育てる。中沢小学校が本気で目指す教育です。

今月は、ハートフル集会で子どもたちが人権について考えます。また、音楽集会では、子どもたちがまさに高い目標に向かって練習に取り組んでいきます。さらに、3日には6年生がケータイ・スマホ使用のリスクや安全な使用について中学校1年生と共に学習します。様々な取組を通して子どもたちどうしがかわりながら育っていくことを願っています。今月もよろしく願いいたします。